

【虫笛……会員の声】

日本家屋害虫学会との出会い

杉浦 清三

(株)アイ・ティー・エス マネジメント
〒399-0701 長野県塩尻市広丘吉田914-37

電話が鳴っています。一般家庭のお客様よりの駆除依頼です。虫からネズミまでいろいろな相談を受けます。PCOはどんな技を使っても、虫やネズミをやっつけてしまいます。「お蔭様で助かりました。今晚から枕を高くして眠れます」とお礼を言われ、感謝され、料金をいただきます。年間契約の定期駆除の合間のひとこまでです。

PCOはクライアントの要望や契約内容により、時には早朝より、時には深夜まで、かつ長距離を移動しながら、365日、こんなことを延々と繰り返して活動し、会社や生活を成り立たせています。

ある統計によれば、日本のPCOは、大半が年商5,000万円前後の中小零細企業とか、ラボとか研究施設という高尚なものは、ほとんど持ち合わせていないでしょう。一部のPCOの様に、実験や研究でお給料をいただける従業員は、業界全体からみれば、極々、一握りの方たちでしょう。



駆除業界とは、全く畑の違う流通業に20年以上身をおいていた私は、流通業界の出店競争と価格競争に呆れ果て、「これからの時代は環境ビジネスだ」という漠然とした思い込みにより、何の知識も、技術を持ち合わせないまま、害虫駆除の会社を創業してしまいました。

何しろ経験がないものですから、聞きかじって覚えた薬剤で効き目を試したり、清掃や片付け、リフォーム屋さんの真似事の様な隙間埋めなど、素人が考え付く、ありとあらゆることを組み合わせて試しました。

昨今、IPMということが言われていますが、今考えれば、当時大真面目にやっていた私の作業は自己流IPMだったかもしれません。

お客様は私のやる気と熱意にほだされて、契約が成立したり、契約の継続をいただき、けっこう繁盛していました。



そんな時でした。本学会との運命的な出会いは、仕事上で知り合った先輩に誘われて受講した1998年の実験講座でした。

一生懸命講義を受けましたが、知らないことばか

りでした。その時思いました。よくもこんな虫の知識のない私に、お客様は毎月毎月滞りなく、お金を振り込んでくれる。ありがたい！感謝と同時に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

「これじゃいかんな。少なくともいただいた料金分だけは、作業だけではなく、知識も情報もお返ししなければ」と一念発起し、本学会を中心に、できるだけ勉強する機会をつくりました。運よくとてもよいお客様に恵まれ、会社の経営は順調でしたので、学会への出席の時間をしばり出せばOKでした。

その後何回も勉強させてもらう機会を持ち、少しは会員の皆様の話についていける様になりました。論文を読んでも理解できる様になりました。

最近のIPM講座は、今後の仕事に役立つ貴重な勉強のチャンスととらえております。

今後も、元気で働ける限り、日本家屋害虫学会とのお付き合いは延々と続くでしょう。数々の論文を読ませてもらいました。たくさん業務に活かせてもらいました。お客様に、「社長は勉強してるね」なんて褒められ、論文の受け売りで、ずいぶんポイントを稼がせてもらいました。感謝、感謝の一言に尽きます。



ただひとつお願いするなら、本学会に限らず、他の学会でも、発表のための発表、あるいは、報告者の趣味の発表が時折見受けられるという意見を耳にします。私もその様に感ずる時があり、もっと実生活や企業の安全な運営管理などの身近な問題や、PCO実務レベルで参考になる発表がほしいなあと思います。

今後は是非、そんなモノサシで実務のPCOの皆さんが、(眠い目をこすっても)「読んでおかなくちゃ」と思わせるような、研究報告を期待しています。

だけど、そうなると、PCOもおねだりしているだけでなく、研究者に、「こんな研究報告が欲しい」というリクエストが必要かも知れませんね！

今後も、いろいろ協力させていただき、たくさん勉強させていただきたいと思います。

がんばろうPCO！

がんばろう家屋害虫学会！！